

各 位

2024年11月14日  
株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

四半世紀を超えて愛用される山溪ハンディ図鑑『日本の野鳥』が  
最新の分類にあわせて大改訂！  
さらに約 360 種の鳴き声がスマホで聞ける！

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、山溪ハンディ図鑑『新 日本の野鳥』（著者：叶内拓哉、安部直哉、上田秀雄）を刊行しました。



雌雄、幼鳥から夏羽・冬羽の違いまで、写真と解説が詳しいと定評のある野鳥図鑑が、最新の『日本鳥類目録改訂第8版』にあわせて大改訂！

さらに約 360 種の鳥について、さえずりや地鳴きなどの鳴き声をスマホで聴くことができる！

1998年の初版刊行以来、四半世紀を超えて版を重ね続けるロングセラー野鳥図鑑が、最新の分類の発表にあわせて大改訂。写真を大幅に増やし、幼鳥や季節違いの羽衣の写真がさらに充実。一種の鳥について、雄雌、幼鳥、夏羽・冬羽などさまざまな姿を写真で紹介し、識別に役立つ鳥の行動や鳴き声、見た目の特徴についても丁寧に解説しています。

さらに今回の改訂では、全体のおよそ3分の2にあたる約360種について、各種のページに掲載のQRコードを読み込むと、背後のノイズが除去されたクリアな鳥の鳴き声を聞くことができるようになりました（音声提供：上田秀雄氏）。

新たに 900 点近い写真を追加・更新して、より美しくより分かりやすい写真で、日本の野鳥約 540 種を紹介し  
ます。



●成鳥 2月

●頭からの上面は黄褐色で、黒い羽線が縦線になって見える。顔から体下面は白く、黒い羽線があり、その内面は淡黄色になっている。嘴は黒く、下嘴は淡色。足は肉色。喉部、非繁殖期は行動以外では聴けない。

●全身は全体的に黄褐色と黒色の羽線模様。上尾翼も黄褐色で、黒い羽線がある。

●尾羽の枚数は14枚。中央の4枚は黄褐色で、最も縁側の2枚のものは白く見える。



●成鳥 4月

●頭からの上面は黄褐色で、黒い羽線が縦線にあり、トラツグミとよく似ている。嘴はトラツグミに比べて太く、目は大きく、足は肉色で角質である。

●成鳥とあまり変わらないが、口角部に幼鳥の特徴である黄色味がある。

●この写真は見えにくい上、上尾翼の羽線の黒と先筒の黒がつながり、縦線が逆T字型に見える。



●成鳥 12月

●成鳥 2月



●幼鳥 電英市 9月

●成鳥 4月

**トラツグミ**  
White's Thrush  
スズメ目 / ツグミ科  
Zosterops lateralis  
体長：130cm



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

558

**ミナミトラツグミ**  
Scaly Thrush  
スズメ目 / ツグミ科  
Zosterops lateralis  
体長：130cm



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

559

分類は、最新の『日本鳥類目録 改訂第8版』に準拠。ミナミトラツグミ(旧オオトラツグミ)は、トラツグミの亜種から独立種へと変更になりました。



●成鳥夏羽 石橋市 3月

●頭からの上面は黄褐色。脚羽線は黄褐色で、背と喉部、喉部に黄褐色の縦線がある。喉部と頬は淡色。嘴は白く、顔面は褐色味が強い。嘴は黒褐色で、下嘴は肉色味がある。

●喉部に際なく、足を広げて止まることが多い。喉部は少し深褐色。繁殖期の成鳥は口角が黒い。

●雄鳥は繁殖期の中で行動しているため、観察できるチャンスは少ない。全身に夏羽に比べて褐色味が強い。夏羽の白っぽい部分には黄色味がある。



●成鳥冬羽 石橋市 9月

●全身の羽衣は雄と変わらないが、口角部分は黒くなく、口の中が肉色をしていることなどから雌雄を識別することができる。

●喉部からの上面は全体的に夏羽よりも黄色味を感じる。喉からの体下面は淡褐色をしている。喉部の黒は少ないが、成鳥冬羽は口角部分がわずかに黒っぽい。

●ヒトヒトと鳴きながら営巣地近くの上空を飛びまわり、縞縞を見回す。尾羽は三角形で、先端の白い部分が目立つ。

●頭からの上面は淡い黄褐色で淡褐色の縦線がある。顔からの体下面は黄褐色で、縞縞はわずかに褐色味がある。喉部の先端部にある白い部分は成鳥に比べて大きい。虹彩は成鳥に比べて淡色。

**セッカ**  
Zitting Cisticola  
スズメ目 / セッカ科  
Cisticola juncidis  
体長：113cm



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

538

**成鳥夏羽 2** 群馬県草津町 5月

**成鳥冬羽 2** 多摩市 6月

写真は全体の 3~4 割を変更し、900 点近い写真を追加・更新。夏羽・冬羽の違いに加えて、幼鳥や飛行時の



### 分類の主な変更点

本書の分類は、『日本鳥類目録 改訂第4版』に準拠しています。  
以前の版（『日本鳥類目録 改訂第3版』）からの、分類の主な変更点についてまとめました。

■以前は亜種とされていたが、独立した種として扱われるようになったもの  
リュウキュウキンワウイ（キンワウイの亜種から変更）→P456  
チョウセンウグイス（ウグイスの亜種から変更）→P518  
ミナミトラツグミ（トラツグミの亜種オトリツグミから変更）→P558  
ハブジメウグイス（ウグイスの亜種から変更）→P574  
ホントウアカヒゲ（アカヒゲの亜種から変更）→P587  
リュウキュウキビタキ（キビタキの亜種から変更）→P592  
オガサワラウグイス（ウグイスの亜種から変更）→P651  
シベリアアマジ（アマジの亜種から変更）→P679

■以前は別種とされていたが、亜種へと変更されたもの  
カダヅカモガ、アイスクロドリからの別種へ変更。→P264  
コベニヒワ、ベニヒワの亜種へ変更。→P632

■科が変更されたもの  
ヒタキ科の一部（トラツグミ属、ツグミ属）がツグミ科に分類になりました。

■属名・学名が変更されたもの

科名	和名	学名変更	和属名変更
カモ科	サカツラガン	<i>Anser cygnoides</i> → <i>Anser cygnoides</i>	
カモ科	トモエガモ	<i>Anas formosa</i> → <i>Sibirionetta formosa</i>	マガモ属 → トモエガモ属
カモ科	シマアジ	<i>Anas querquedula</i> → <i>Spatula querquedula</i>	マガモ属 → ハシビロガモ属
カモ科	ミカヅキシマアジ	<i>Anas discors</i> → <i>Spatula discors</i>	マガモ属 → ハシビロガモ属
カモ科	ハシビロガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> → <i>Spatula platyrhynchos</i>	マガモ属 → ハシビロガモ属
カモ科	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i> → <i>Mareca strepera</i>	マガモ属 → ヨシガモ属
カモ科	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i> → <i>Mareca falcata</i>	マガモ属 → ヨシガモ属
カモ科	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i> → <i>Mareca penelope</i>	マガモ属 → ヨシガモ属
カモ科	アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i> → <i>Mareca americana</i>	マガモ属 → ヨシガモ属
カモ科	ビロードキンクロ	<i>Melanitta fusca</i> → <i>Melanitta strepergari</i>	
キジ科	キジ	<i>Phasianus colchicus</i> → <i>Phasianus versicolor</i>	
ヨタカ科	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> → <i>Caprimulgus jntaka</i>	
クイナ科	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i> → <i>Rallus indicus</i>	

699

以前の分類からの変更点については、巻末にまとめています。

## 【商品詳細】

書名:山溪ハンディ図鑑『新 日本の野鳥』

著者:叶内拓哉、安部直哉、上田秀雄

定価:5,280 円(本体 4,800 円+税 10%)

発売日:2024 年 11 月 14 日

仕様:A5 変形版・720 ページ

発売元:株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/products/2823070450.html>

## 【著者略歴】

写真・解説 叶内拓哉 (かのうちたくや)

1946 年、東京都生まれ。子どものころから動植物に興味をもつ。東京農業大学農学部卒業。卒業後 9 年間、造園業に従事し、その後野鳥写真家として独立、現在に至る。著書、共著書に、『鳥景色』（講談社）、『鳥に会う旅』（世界文化社）、『りんご 津軽りんご園の 1 年間』『いつ寝るの』『落とししたのはだれ?』（福音館書店）、『山溪カラー名鑑日本の野鳥』『くらべてわかる野鳥』（山と溪谷社）、『フィールド図鑑 日本の野鳥』『絵解きで野鳥が識別出来る本』（文一総合出版）、『365 日出会う大自然 野鳥』（誠文堂新光社）など多数。

分布図・解説協力 安部直哉 (あべなおや)

1938 年、東京都生まれ。東京水産大学卒業。著書に、『野鳥』（家の光協会）、『山溪名前図鑑 [野鳥の名前]』（山と溪谷社）、訳著書に『グールドの鳥類図譜』（講談社）、訳書に、I. ウィリアム『カッコウの生態』（どうぶつ社）、N. ティンバーゲン『生きるための信号』（思索社）など。本書では分布図の作成を担当し、解説の協力をした。

**鳴声（録音・解説） 上田秀雄（うえだひでお）**

1953年、東京都生まれ。1990年に「上田ネイチャーサウンド」を設立し、デジタル録音で鳥や昆虫、蛙、哺乳動物の鳴き声および自然の風景音を収録する。本書では、鳴き声の解説と、QRコードからアクセスできるwebページの音声を担当。共著書に『DVDブック 知っておきたい鳥の声120』（山と溪谷社）など。

**【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>**

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心とした山岳・自然科学・アウトドア・ライフスタイル・健康関連の出版事業のほか、ネットメディア・サービスを展開しています。

さらに、登山やアウトドアをテーマに、企業や自治体と共に地域の活性化をめざすソリューション事業にも取り組んでいます。

**【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>**

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。

さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社山と溪谷社 担当：井澤健輔

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>